

新約聖書の中の祈り④

熊本聖書フォーラム

2020年7月12日

出典：MBS147 “Prayer in New Testament History” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

アウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り
3. 使徒の働きにおける祈り
4. 書簡における祈り

本日は、イエスの祈り 14番から16番

イエスの祈り 22の事例の中から

14. 最後の過越の食事での祈り
15. 最後の過越の食事の間での
ペテロのための祈り
16. 将来、聖霊が信者の内に住んで
くださることについての祈り

14番 最後の過越の食事での祈り P.3

マタ26：26～29、ルカ22：14～20

1. 第一の杯について、感謝をささげた
(ルカ22：17)
 2. パンを祝福し、感謝をささげた
(マタ26：26、ルカ22：19)
 3. 第三の杯について、感謝をささげた
(マタ26：27、ルカ14：20)
- 過越の食事を守るときの定型的な祝福と感謝の祈り

15番 ペテロのための祈り P.3～4

• ルカ22：31～32

- ① 祈りの時 : わたしは、祈りました
- ② 祈りの種類 : あなたのために
- ③ 祈りの内容 : あなたの信仰がなくならないように
- ④ 祈りの結果 : ペテロは躓いたが、守られた
- ⑤ イエスは過越の食事をする前に、ペテロのためにとりなしの祈りをしていた。この祈りにより、ペテロは立ち直り、兄弟たちを力づけることができた

16番 将来の聖霊内住の祈り P.4

• ヨハネ16：7

- ① 助け主 = 聖霊
- ② イエスが去る → 助け主（聖霊）が来る
 - 聖霊は、旧約聖書の中でも働いておられる
 - 「助け主が来る」というのは、聖霊が信者の中に住んでくださり、信者を助けてくださること。これを聖霊の内住という
- ③ イエスが去る = イエスがいったん天に戻る（十字架上での死 → 復活 → 昇天）
- ④ よって、十字架前のこの時点では、聖霊の内住は将来のこと

16番 将来の聖霊内住の祈り P.4

• ヨハネ14：16～17

- ① 祈りの時：わたしは父にお願いします（未来形）
- ② 祈りの対象：父なる神
- ③ 祈りの内容：父なる神が御霊を弟子たちに遣わして下さるように。「もうひとりの助け主（慰めるお方）」として弟子たちのためにお働きになるため。
- ④ 祈りの結果：ヨハネ16：7「もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わします」

補足：ペテロへの予告と、ペテロがイエスを三度知らないと言うこと P.5～6

1. ペテロへの予告は、3回にわたった
2. イエスが逮捕されたとき、弟子たちはみな逃げた
3. ヨハネとペテロは、イエスを逮捕した群衆（ローマ軍の千人隊も同行 ヨハネ18：3、12）の後をついて、大祭司の屋敷まで行った。
ペテロの否認は、3つの場所で起きた
 1. 大祭司の屋敷の門のところで
 2. 屋敷の中庭（下の庭）で
 3. 中庭から外へ出る出入り口のところで
4. ペテロがイエスを知らないと言ったのは、一番鶏が鳴くまで5回、二番鶏が鳴くまで3回、計8回
 - マルコ14：30 「鶏が二度鳴く前に、わたしを知らないと言います」